



日耳鼻医学会 F A X ニュース NO 197

平成25年1月10日 発行 (特)日本耳鼻咽喉科医学会 E-mail jimuj@jenti.or.jp HP <http://www.jenti.or.jp>
〒104-0031 東京都中央区京橋2-11-8 全医協連会館5F FAX 03-5524-5228 TEL 03-5524-5230

謹んで新年のお喜びを 申し上げます

旧年中のご厚誼に心よりお礼申し上げます
本年も昨年同様のご支援ご協力を
宜しくお願い申し上げます

平成25年 元旦

(特)日本耳鼻咽喉科医学会

理事長 伊東祐久 他役員委員一同

年頭のご挨拶

日耳鼻医学会理事長 伊東祐久

謹んで新年のお慶びを申し上げます。本年もよろしくお願
い申し上げます。また昨年中に頂きました当会へのご厚誼に
対しまして心より感謝申し上げます。

さて、ご存じの通り突然の衆議院選挙では自民党が圧勝し
ました。民主党政権に多くの国民は期待したのですが、唐突
にマニフェストには書かれていない消費税増税を行い、TPP
参加も十分な議論をすることなく参加を表明したりで失望した
結果でしょう。しかし投票率や各政党の得票をみると必ずしも
自民党を全面的に信頼したわけではないようです。

安倍首相は「強い経済の再建なくして、財政再建も日本の
将来もない。強い経済を取り戻す」と首相就任後初めての演
説でこう述べていますが、2012年12月28日付 英フィナンシャル
・タイムズ紙には「日本の新政府は、1990年代の投資ブ
ームを彷彿させる大規模な公共投資を計画しており、経済政策
に関して時計の針を巻き戻しているように見える。」と書かれ
ています。10兆円規模の大型補正予算を組むのでしょうか、
医療介護福祉にどの程度振り分けられるのか、公共事業に
だけ回されるのか、しっかり監視する必要があります。

山中伸弥教授のノーベル医学生理学賞受賞は医療関係
の私たちにとっても大きな喜びでありました。すっかり耳にな
じんだiPS細胞ですが、色々な施設でその臨床応用に取り組
んでいます。耳鼻咽喉頭頸部領域、とりわけ内耳有毛細胞へ
の臨床応用ができる日が早くることが望めます。

さて昨年12月2日の医会長協議会では多くのご提言ご要
望を頂き感謝致しております。喫緊の課題は申すまでもなく
組織の強化です。退会・休会・未加入医会には、何故全国的
な組織が必要なのか十分に理解して頂き、共に活動したいと
願っております。そのためにも他科医会の活動なども参考に
して、活動内容の見直し改善はもとより、活動の幅も広げ、皆
様に評価して貰えるよう努力いたします。

幸いに1月30日に日本医師会で第9回日本臨床分科医会
代表者会議が開催されます。日本医師会、整形外科、精神
神経科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、放射線、眼科、内
科、外科の医会の参加が見込まれています。日本医師会お
よび各科医会と情報交換を行い、今後の活動に役立てたいと
思います。また顧問に就任いただいた横倉日本医師会長に
もご挨拶できると楽しみにしております。

会員の研鑽と親睦を目的とした臨床家フォーラムも今年は
第38回を迎えます。皆様の診療に支障がないように9月15・
16日の連休に東京品川のココヨホールで行います。会員家
族・職員も参加できるので楽しいという声も多く聞かれていま
す。魅力あるプログラムをと実行委員会が着々と準備をすす
めていきますので多数参加頂きますようお願いいたします。

最後に、先生方と御家族皆様のご健康とご多幸を心より
お祈り申し上げ、年頭のご挨拶と致します。

平成25年春の花粉総飛散量及び飛散開始時期 の予測(第1報) 2012/12/21 環境省

(1)スギ・ヒノキ花粉総飛散量は、平成24年春(前シーズ
ン)と比較すると、一部の地域を除き、全国的に多くなると予
測される。例年との比較でも、東北及び中国地方の一部、四
国、九州地方でやや少なくなるが、他の地方は例年並みか例
年よりも多くなると予測され、とりわけ東北地方の一部を除く
東日本を中心に例年よりもかなり多い飛散が予測されている。

また、例年より少ないと予測される中国地方の一部、四
国、九州地方でも、花粉症に対し十分な注意が必要な花粉総
飛散量である県が多いと予測されるため、前シーズン比や例
年比での増減に関わらず、花粉総飛散量の予測値に基づいた
早めの花粉症予防対策等が必要と考えられる。

(2)スギ花粉の飛散開始時期は、全国的に前シーズンより
やや早いものの、例年よりも3日前後遅くなると予測される。

なお、本予測(第1報)は、現時点で得られた気象データ、
気象庁の季節予報、前年のスギ・ヒノキ花粉飛散量及びスギ
雄花花芽調査等を踏まえて作成されたものであり、1月下旬
頃に最新の気象予報を踏まえ、より精緻な予測(第2報)を公
表する予定。さらに、今年度から、花粉の飛散開始時期をより
実態に即して予測し、花粉症予防及び治療を効果的なもの
とするために、2月中旬頃にも最新の気象予報を踏まえて補正
した予測(第3報)を追加して公表する予定。

免疫細胞の能力回復

iPS細胞化で若返り

東京大学の中内教授らは、体の免疫細胞からiPS細胞を作
製し、これから再び増殖力に優れた免疫細胞を作することに成
功した。iPS細胞化することで細胞が若返り、癌細胞やウイル
スへの攻撃力が高まると見ている。

研究チームはエイズウイルスに感染した患者の血液から
「細胞障害性T細胞」と呼ぶ免疫細胞を取り出し、これに遺伝
子を導入してiPS細胞に変え、培養して再び免疫細胞に育て
ることに成功した。もとの免疫細胞が持っていたウイルスに感
染した細胞を見つける能力も維持でき、細胞の若さの指標と
なる増殖力は数十倍から数百倍になっていた。若返らせた免
疫細胞を体内に戻せば、体の免疫機能を回復できる可能性
がある。

(日経新聞1月4日)

明日をもっとすこやかに



経口用セフェム系抗生物質製剤
処方せん医薬品®
日本薬局方セフトレキシドピボキシル錠/細粒

メイアクトMS®錠100mg
メイアクトMS®小児用細粒10%

MEIACT MS® TABLETS 100mg / FINE GRANULES 10%
略号: CDTR-P1 注) 注意-添付等の処方せんにより使用すること

※効能・効果、用法・用量、用法・用量に
関連する使用上の注意、禁忌、原則
禁忌を含む使用上の注意等、詳細は
製品添付文書をご参照ください。

Meiji Seika ファルマ株式会社
製造販売元
[資料請求先] 東京都中央区京橋2-4-16
<http://www.meiji-seika-pharma.co.jp/>
作成: 2012.4

今後の会議日程

- 1月20日 平成24年度第5回全理事会
- 1月30日 第9回日本臨床分科医会代表者会議
- 3月17日 平成24年度第6回全理事会
- 5月19日 平成25年度第1回全理事会
- 6月30日 定時都道府県代議員会・総会(予定)